

＼ MY Boxプロジェクト ／

「子ども応援パーソナルボックス」

子どもたちに今必要な衣類・学用品をパーソナライズして届けるプロジェクト



ボックスの中身

- | 衣類 | 衛生用品 | 学用品 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 防寒具(ダウン) ● フリース ● スウェット上下 ● 下着×5着 ● 靴下×5着 ● 靴(上履き・外履き) ● 長靴 | <ul style="list-style-type: none"> ● 化粧品・乳液 ● 洗顔フォーム ● シャンプー・コンディショナー ● ボディーソープ ● タオル×2枚 ● シェーバー ● 生理用品(女性のみ) | <ul style="list-style-type: none"> ● 筆記用具 ● ノート ● 参考書 |

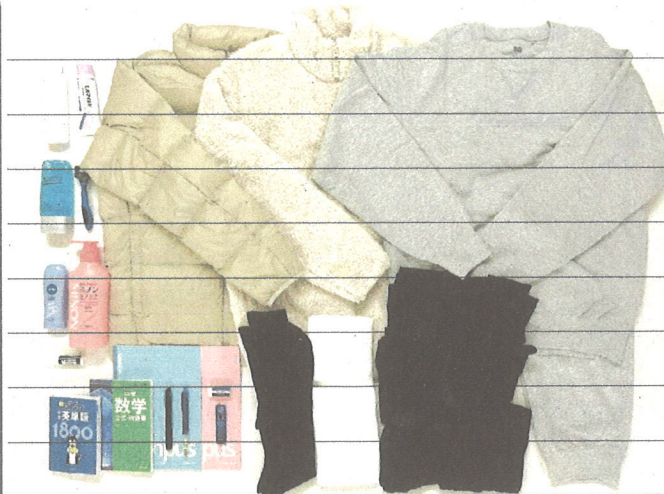
※内容は現地のニーズに合わせて変更となる可能性があります。また同様の内容物が届くとは限りませんので、予めご了承ください。

MY Boxを届ける理由

私たちは、令和6年能登半島地震の発災直後から現地調査に入り、1月5日から避難所を中心に子どもの預かり居場所支援「みんなのこども部屋」を県内7か所で運営してきました。

少しずつ支援物資が届き始めているとはいえ、まだまだお子さんたちのサイズに合った衣類や、今必要としている文房具などが手に入りづらい状況かと思えます。

カタリバは、企業や石川県と連携し、避難所や自宅で避難を続けていらっしゃるお子さん一人ひとりに向けて、お子さんのサイズに合わせた衣類や靴、学用品等をお届けします。



連携自治体

この取り組みは石川県教育委員会・珠洲市・輪島市・能登町・穴水町とカタリバが連携協定を取り交わし、実施している企画です。

連携・賛同企業

●株式会社ファーストリテイリング(ユニクロ) ●セイノーホールディングス(株) ●他多数 *順不同
※連携企業は今後の現地ニーズ等により増加する可能性があります。

運営団体 認定NPO法人カタリバ

どんな環境に生まれ育った10代も、未来を自らつくりだす意欲と創造性を育める社会を目指し、2001年から活動する教育NPOです。高校への出張授業プログラムから始まり、2011年の東日本大震災以降は子どもたちに学びの場と居場所を提供するなど、社会の変化に応じてさまざまな教育活動に取り組んでいます。